



財政事情に関する公表書

豊能町の令和5年度予算における財政事情は、次のとおりです。

令和6年2月1日

豊能町長 上 浦 登



我が国の景気は、このところ一部に足踏みもみられるが、緩やかに回復しています。

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されます。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっています。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。さらに、令和6年能登半島地震の経済に与える影響に十分留意する必要があります。

本町では、人口の減少や少子高齢化、地価の下落等によって、主要な自主財源である地方税の減少傾向が続いており、依然として歳入の67%を地方交付税などの依存財源が占めており、依存度が高い状況が続いています。

一方で、人口急増期に建築した建物やインフラが、一斉に更新時期を迎えるなど、歳出面でも今後の財政負担が増加する傾向にあり、歳入の不足を基金の取り崩しに頼らざるを得ない状況が続いています。

このように厳しい財政状況ではありますが、令和元年度に「豊能町行財政改革プラン2019」を策定し、令和4年度までを計画期間として、基金の取り崩しに頼らない健全な財政運営を目指してまいりました。今後も進捗の完了に向けて引き続き取り組みを続けるとともに、小中一貫校の整備や公共施設の再編により、施設の改修、修繕費や維持管理費の削減を行い、持続可能な財政運営を目指してまいります。

令和5年12月末現在における令和5年度の一般会計の予算額は、繰越財源を含み82億5,465万5千円、当初予算から16億9,465万5千円の増、前年度同期と比較して13億2,505万6千円、13.8%の減となっています。

令和5年度一般会計の4月から12月の収入済額は、57億5,862万8千円、前年度同期と比較して、1.5%の増であり、支出済額は、42億8,883万円、前年度同期と比較して、2.2%の減という状況にあります。また、支出の執行率は52.0%で、前年度同期より6.2%上回っています。

令和5年度の一般会計及び特別会計における4月から12月までの予算執行状況は別添のとおりです。